

時 期	4月～11月	時 間	半日程度
難易度	★★☆	対 象	どなたでも



組立式いかだ(KI)



<活動の概要>

フロートをつけた台に丸太をロープで固定し、いかだを組み立てる活動です。お互いに力を合わせ、工夫していかだを組み立て、海に漕ぎ出しましょう。

海に浮かんだときの気分は最高です。

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

活動のねらい

- 仲間と工夫しながらいかだを組み立てることにより、協力する力を育てるとともに、作り上げたという達成感を味わう。
- 海的美しさ・素晴らしさを実感し、海から見た風景など若狭湾の自然を感じる。
- 活動エリアや定員などのルールを守り、安全に対する意識を高める。

準備物

自然の家で準備しているもの【場 所】			団体で準備するもの
組立式いかだ用フロート	6組	【スロープ】	活動に適した服装 ぬれてもよい服装 水着(夏季)
組立式いかだ用ロープ	24本	【ピロティ】	
木製パドル	40本	【ピロティ】	タオル
組立式いかだ用丸太	6艇分	【裏表紙参照】	
ライフジャケット(小・大)	300着	【ライフジャケット置場】	帽子
無線機	1台	【事務室】	かかとがとまるサンダル (もしくはぬれてもよい運動靴)
組立式いかだ用模型	6個	【事務室】	



組立式いかだ用フロート



組立式いかだ用ロープ



木製パドル



組立式いかだ用丸太



ライフジャケット (左：小, 右：大)



無線機

模型

手順

活動前

- 活動前に「ボート類活動計画書」を事務室まで提出してください。
- 無線を1台貸し出します。
- 参加者の健康状態や持ち物を確認してください。
- 着替えは「宿泊棟」で行ってください。

活動中

- 必ずライフジャケットを着用して、活動してください。
- いかだエリアの水域で、活動してください。
- 利用者の事故防止のため、定員内で活動してください。
- 立ち漕ぎは非常に危険ですので、座って行ってください。
- 使っていない大だらいは、流されないように波打ち際から離して置いてください。
- 適度に、休憩をしましょう。
- 緊急事態が起きたときは、無線で事務室に連絡してください。

活動後

- 参加者の人数や健康状態を確認してください。
- 使用したいかだ、パドル、ライフジャケット、ロープなど協力して片付けましょう。
- 海水に浸かったライフジャケットは、水洗いをしましょう。
- 使い終わったライフジャケットは、ファスナー・バックルを締めてハンガーにかけてください。
- 館内に入る時は、水気をよくふき取り、砂を払い落として館内に入りましょう。
- 濡れたままや水着のみで館内を歩かないようによろしくお願いします。

ふりかえりの視点

- 海でどんなことを感じましたか？活動を通して感じたことを共有しましょう。
- どんなことに気をつけながら活動を進めましたか？安全に気をつけることができた点については共有しましょう。

指導上の留意点

- 組立式いかだ1艇につき、丸太が6～8本必要となります。
- 危険が予想される場合は、当施設職員の判断により活動を中止することがあります。
- ライフジャケットを着用したまま、故意に泳がないでください。

トビーのライフジャケット講座

- ☆ ライフジャケットは前のファスナーとバックルをしっかりとめよう！
- ☆ ライフジャケットを着て、海に入って泳いではいけませんよ！
- ☆ ライフジャケットが海水でぬれてしまったら真水で洗おう。(団体旗用掲揚台の両脇にホースがあるよ)
- ☆ ライフジャケットを使い終わったら、元通りファスナーとバックルを締めてハンガーにかけておいてね！



これより沖に出ないこと！

組立式いかだ用丸太
【タイドプール行遊歩道】



ライフジャケット
【ライフジャケット置場】



組立式いかだ用フロート
【スロープ】



木製パドル、ロープ
【ピロティ】



無線、組立式いかだ用模型
【自然の家事務室】

